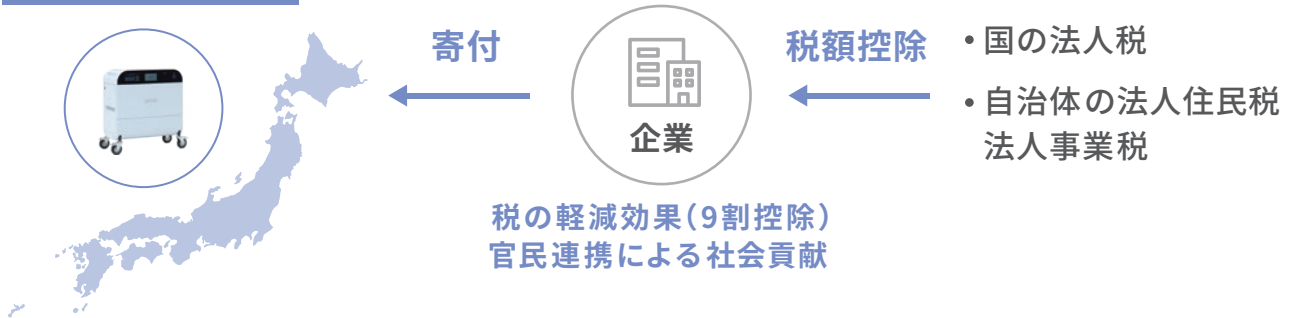


# 「企業版ふるさと納税」を活用した導入

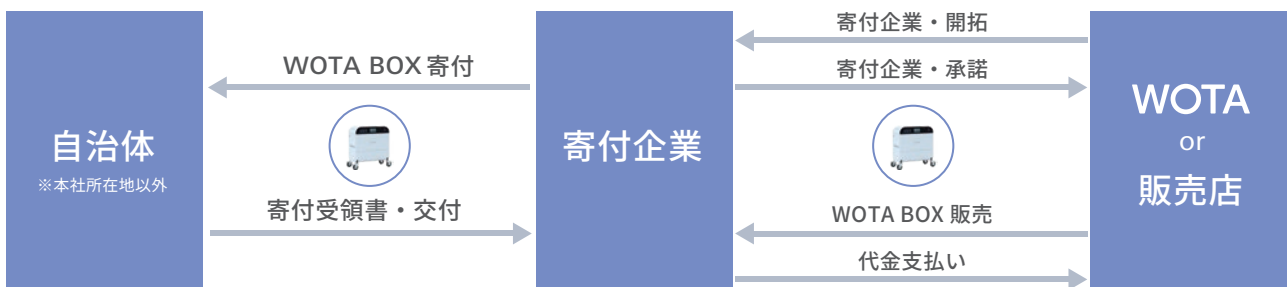
企業版ふるさと納税制度を活用し、民間企業様からの寄贈により小規模分散型水循環システムの導入を進める自治体様の事例が増加しています。本制度の活用により、自治体様は財政負担無しで「WOTA BOX」「WOSH」を配備・災害時に利用することができます。

同じことを繰り返さない

災害に強い日本へ



# 企業版ふるさと納税（物納）全体スキーム



# 主な導入事例

災害時相互応援に関する連携協定を締結し、連携協定を結んだ12市町村・全国15自治体に対して計5億6000万円の寄付を実施。企業版ふるさと納税を活用し、「WOTA BOX」24台、「WOSH」5台の寄贈（物品）をいただきました。広域で互助のネットワークを形成した事例にもなっています。



速やかな災害対応に向け意義深い（宿毛市長）

住民の生命財産を守るために必要な協定（宇和島市長）

## 導入予定自治体

### 愛媛県5市町村

：宇和島市、西予市、松野町、鬼北町、愛南町

### 高知県7市町村

：宿毛市、土佐清水市、四万十市、四万十町、大月町、三原村、黒潮町

### 兵庫県3市町村

：洲本市、南あわじ市、淡路市



# いつ起こるか分からない災害に向け、平時からの備えを

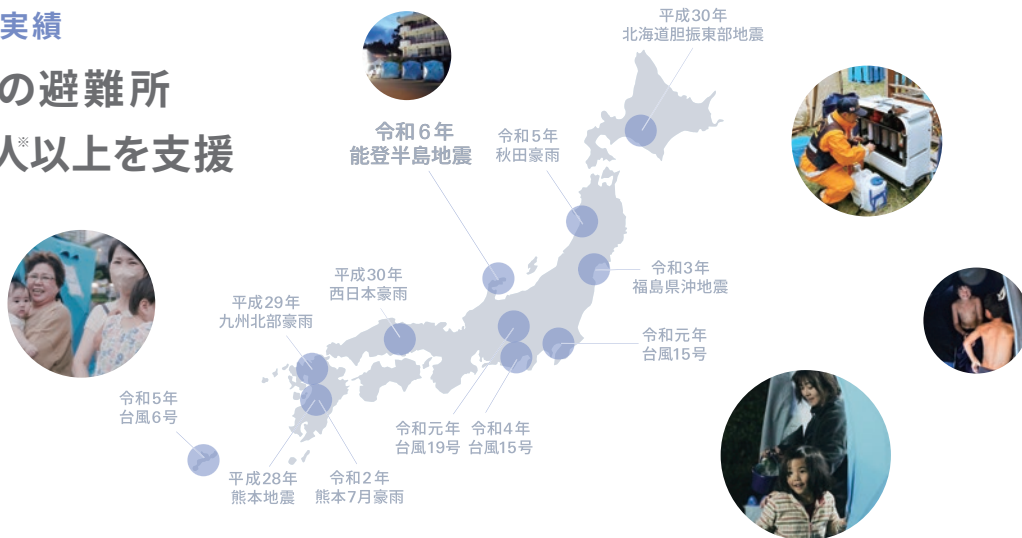
## 断水時にも生活用水に困らない社会の実現

WOTAはこれまで、様々な震災において手洗い・入浴支援を行ってまいりました。国内での手洗い・入浴支援に加え、2023年2月のトルコ・シリア大地震においても、JICA国際緊急援助隊救助チーム・医療チームにて「WOTA BOX」を活用いただきました。災害時には被災者だけでなく、救助隊員や復旧作業員、病院職員など、いわゆる「エッセンシャルワーカー」と呼ばれる方々の安全確保も非常に重要です。能登半島地震においても、WOTAは介護施設や病院の手洗い・入浴支援など、エッセンシャルワーカーのサポートを行ってまいりました。

## 災害現場での実績

120箇所の避難所  
20,000人以上※を支援

※2023年12月末時点



## Solution

ポータブル水再生プラント **WOTA BOX**



水道管に依存することなく、水利用を実現するシステムです。排水を98%以上再生し、循環利用することを可能にします。オプションユニットと接続することでシャワーとして利用できます。通常、シャワーには1人につき40~50Lの水を必要としますが、「WOTA BOX」は100Lの水で約100人分のシャワー入浴を提供します。

水循環型手洗いスタンド **WOSH**



「WOTA BOX」同様、排水を98%以上再生し、循環利用することが可能です。少量のたね水と電気さえあればどこにでも設置できます。20Lの水で約500回の手洗いができ、99.9999%以上の菌・ウイルスを含む不純物を除去します。

ご不明点等、お気軽にお問い合わせください。

[info@wota.co.jp](mailto:info@wota.co.jp)



お問い合わせフォーム